

2008年G8サミットNGOフォーラム 第2期(2007年9月18日~2008年9月)

参加団体

記入日: 2007年9月12日

*団体名:(日本語) コンサベーション・インターナショナル・ジャパン

(英語) Conservation International Japan (CI)

*住所: 〒163-1339 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー39階

*Tel: 03-6911-6640 Fax: 03-6911-5599

*連絡用E-mail: ci-japan@conservation.org *ウェブサイト: www.conservation.or.jp/

参加ユニット:

貧困・開発ユニット	
環境ユニット	
人権・平和ユニット	

参加の形態:

運営NGO	
サポートNGO	

団体の設立年月日
1990年
団体設立の経緯と目的
自然生態系と人との関わりを重視して地球環境問題を解決することを目的とし、地球が長い年月をかけて育んできた自然遺産としての生物多様性を保全し、人間社会と自然が調和して生きる道を具体的に示すことミッションとする
代表者名
日比 保史
団体の主な活動内容
国際的ネットワークを駆使した政策立案、科学的調査研究、地域の持続的な開発支援などへの取り組みを通して、火急を要する生物多様性保全の問題に解決の糸口を探る。具体的には、政府への政策提言や、政府 ODA 機関や国際機関との連携、企業の環境戦略強化・支援や社会貢献パートナーシップ(特に途上国におけるコミュニティ・ベースの保全事業への支援構築)、一般市民への啓発活動など。
NGO フォーラムで団体が実現したい活動
これまで、生物多様性は、生物学上の問題として一般的には理解されてきた傾向があるが、生物多様性こそは、人間社会の持続可能な開発の基盤となるものである。国際社会においては、ハイリゲンダム・サミットでようやくその事実への理解が深まり、来年の洞爺湖サミットへも引き継がれていくことになる。気候変動以上に国際社会の持続的発展に今後影響を与えることになる生物多様性について、洞爺湖サミットで日本がリーダーシップを発揮し、実質的な合意や方向性を打ち出すよう、市民からのボトムアップで環境醸成に取り組みたい。